



がんばっています!

こどもエコクラブ

～三重県のこどもエコクラブ活動紹介～



中原幼稚園なかはらっ子(松阪市)

・会員数50人 ・サポーター数6人 ・クラブの構成 松阪市立中原幼稚園園児(保護者と共に)
・代表サポーターの佐々木先生に聞きました。



いつどのようにできたのですか?

2007年の6月の環境デーに、県環境学習情報センター吉田さんよりエコソングを教えていただきながらエコ学習をしたのがきっかけです。以前からゴミを減らし、分別をしてゴミの再利用の指導をしてきました。2年前のこと、「家庭でゴミが多く出るのは台所、食事の残り物がゴミになる。残さず食べてゴミを減らそう・・・」と話していた時一人の男児が「それはゴミじゃないよ」と・・・その子の家では生ゴミ処理機を使用し堆肥として再利用していたのです。子どもの周りにいる大人が「地球にやさしいこと」とは何かを考え、自分にできることをする。その姿を子どもに見せていくことの大切さを感じ、保護者と共に取り組みを進めていくことになりました。

どのような活動をしていますか?

■リサイクルを「ゴミの変身」としゴミの再利用をしています。**幼稚園の分別ゴミ箱設置**——園児のおじいちゃん手作り、中身が見えるかわいい分別ゴミ箱です。給食の牛乳パックは切り開いて、洗って、乾かして入れます。**新聞紙・雑誌・アルミ缶・ペットボトルのふた・牛乳パック等の資源ごみ回収**——保護者が登園時に持参して幼稚園の収集庫へ子どもと共に入れます。**空き箱製作**——牛乳パック、空き箱、カップ、広告紙等を使って遊びに必要なものをつくります。包装紙を折り紙にして遊びます。■朝顔のグリーンカーテン——先生との朝の出会いの場であるテラスや部屋が涼しく快適です。枯れた花は、色水あそびに使います。■レジ袋は使いません——汚れた着替えを入れて持ち帰る袋は、レジ袋ではなく繰り返し使える袋を準備しています。■簡単布袋の活用——何でも手に入る便利な世の中ですが、手作りの良さを見直し繰り返し使うことから、親のぬくもりや愛されていることを感じてほしいと思います。

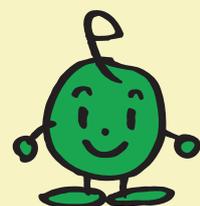
どのようなことを子どもに伝えたいですか?

幼稚園のエコ教育は、周りの環境を整え小さいうちから気づかせていく指導はもちろんです。周りの大人の影響を受けて身につけていくことが何よりも大きいこの時期には、保護者と共に取り組みを進めていかなければならないと思います。エコ教育は、道徳教育でもあると思います。・みんなで決められたルールを守ること。・仲間を大切にすること。・生き物を大切にすること。・公共物を大切にすること。すべて相通ずるものがあるのではないかと思います、目の前の子どもたちとかかわっています。幼稚園教育は、人づくり。それにぴったりのエコ教育です。子どもたちには、五感を使って元気に遊ぶ中で「地球にやさしいこと=人にやさしいこと」を学んでほしいと思います。



こどもエコクラブとは

幼児から高校生まで誰でも参加できる環境活動のクラブです。こども達の興味や関心に基づいて、身近な地域の中でできる活動に自由に取り組みます。仲間が集まればどんなグループでもこどもエコクラブとして登録して活動を始めることができます。(入会費・登録費は無料です) ※詳しくは環境学習情報センターまで



こどもエコクラブイメージキャラクター
エコまる